

中海工コ活動レポート

ラムサール条約湿地「中海・宍道湖」合同シンポジウム開催！



宍道湖・中海ラムサール条約
シンボルマーク

鳥取・島根両県主催による「中海・宍道湖」の賢明利用と保全・再生を考える合同シンポジウムが昨年12月境港市で開催されました。

会場では、宍道湖や中海で活動しているゴビウスKODOMOラムサール探偵団や、米子水鳥公園ジュニアレンジャークラブの子どもたちによる取り組み報告のあと、テレビで人気の「さかなクン」（東京海洋大学客員准教授）によるトークショーもあり、中海にすんでいるお魚をイラストで描きながら、その習性や名前の由来など楽しく紹介していただきました。

- ラムサール条約湿地「中海・宍道湖」
合同シンポジウム開催！
- 中海・宍道湖の子ども達が
他のラムサール湿地で交流へ

- 中海で小学生とスジアオノリの養殖
- とりもどそう！美しい中海
～中海写真展 作品募集～
- 中海を5感でチェック！

中海・宍道湖は、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されています。日本全国には、中海・宍道湖も含めて2013年1月現在46か所の登録湿地があり、各地で様々な活動が行われています。

今回、米子水鳥公園の子ども達と、ゴビウス KODOMOラムサール探偵団が、他の2つのラムサール条約湿地へ出かけていき、そこで活動する子ども達と交流をしました。



まず、千葉県にある谷津干潟は、中海と同じように埋め立てられようとしていた湿地を、市民の運動によって保全した湿地です。ゴミ捨て場となった小さな湿地でひたすらゴミ拾いをするなど、市民の保全活動の高まりなどによって埋立計画は中止となり、1993年には国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。



観察センターの前で潮干狩り(谷津干潟)

子ども達はお互いに日ごろの活動を紹介し合ったり、干潟での生き物観察などを通して交流を深めました。ゴミ拾いなどの活動は、多くの市民が湿地の周りに住んでいるからこそできる活動で、中海・宍道湖でも見習うことができそうです。



もうひとつは、昨年(2012年)7月に新たにラムサール条約湿地として登録された豊岡市の円山川河口域・周辺水田です。豊岡市ではコウノトリを中心とした街づくりをされており、コウノトリのために地域の生物多様性を高める街づくりを進められています。

街のあちこちにコウノトリの巣塔が建つ景色や、休耕田となった谷津田をコウノトリの餌場とするために多様な生き物を育む生物多様性の基地にする試みは、この地域の活動がいかに長

い間地域の方々に浸透しているかを示していました。

コウノトリだけでなく、トンボやカエルなどの生き物たちを見て、参加した中海・宍道湖の子ども達は目を輝かせていました。近い将来、この湿地で生まれたコウノトリが中海や宍道湖にやって来るようになるでしょう。



コウノトリの巣塔を見学
(円山川河口域)

今回の交流会に参加した子ども達には、これを機に他の湿地で学んだことを、今後中海・宍道湖での活動に活かして欲しいと願っています。



エコアップ(※)を行った放棄水田で生き物
観察 (円山川河口域)

(※) エコアップ
生き物が生活する環境を回復、または生み出すことで、種の多様性を高め、残された自然を適切に保全し人との共生を図ること。



■ 米子水鳥公園 子どもラムサールクラブ ジュニアレンジャークラブ

〒683-0855 米子市彦名新田665
TEL (0859)24-6139
FAX (0859)24-6140

■ ゴビウス KODOMOラムサール探偵団

〒691-0076 出雲市園町1659-5
TEL (0853)63-7100
FAX (0853)63-7101

地中海でのスジアオノリの養殖は、かつて島根県水産事務所が、母藻（地中海で自生しているスジアオノリ）を養殖網に植え付け、その網を地中海の沖に竹の杭を使って張り出し、成長させ収穫するという方法で商品化に成功しています。

当NPOは、そのノウハウを活かし、地域の方や子ども達と地中海でスジアオノリを育て、食べるという体験から、地中海が食を育てる場であるということ、スジアオノリを育てて食べる事で地中海をより身近に感じてもらう環境学習の一つになればと昨年度から取組みをはじめました。



本庄小学校での杭打ち

今年度は11月～1月にかけて、地中海の北（本庄）と南（東出雲）の2地点で行いました。北は本庄小学校と、南は東出雲の3つのエコクラブと一緒に取組みましたが、特に本庄小学校では、網を張るためのくい打ち、網の沖出しという最初の工程から子ども達と一緒に行いました。子ども達は、普段入ることがないという地中海に入り、楽しそうに作業をしていました。



今年度は残念ながら、両地点とも収穫が少なく、目標だった板アオノリの作成は出来ませんでした。一緒に網を引き上げ、東出雲では収穫したスジアオノリを味噌汁に入れて味わいました。そして両地点とも電子レンジを使いスジアオノリの自分だけの葉を作りました。



繁茂したスジアオノリ（一昨年の状況）

また、スジアオノリの生態や地中海の環境を学習し、なぜ育たなかったのかを一緒に考えました。この育たなかった経験を活かし、次回（春）の養殖につなげていきたいと思っています。

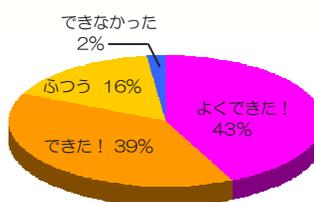
今後も地中海をもっと身近に感じられるような、環境保全につながる活動を続けていきます。

環境学習に参加した子どもたちのコメント

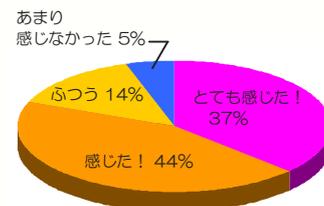
- ・「汚い」「臭い」と思っていた地中海が、入ってみると意外ときれいだった。
- ・地中海で高級食材のスジアオノリが収穫できることに驚いた。
- ・宍道湖・地中海が汽水湖で貴重な場所だと、あらためて感じた。

アンケート結果

今回の学習でスジアオノリについて勉強できましたか？



今回のイベントで地中海のことを身近に感じる事ができましたか？



アンケート回答44名
(本庄小学校17名、東出雲エコクラブ27名)



東出雲でスジアオノリの葉作り

■ 認定NPO法人 自然再生センター

〒690-0064 松江市天神町28番地
TEL (0852)21-4882
FAX (0852)61-0900

中海写真展は、写真を通して中海の自然の美しさを再発見し、水辺に対する親しみを取り戻すとともに、中海の水質浄化意識を高めるため、平成元年に「湖沼水質保全特別措置法」により中海が指定湖沼となったことを機に、以来毎年行っている写真展です。

今年も本写真展では、中海を題材とした作品を募集しています。応募頂いた作品は全て米子市内で展示させて頂くとともに、応募作品から各部門で最優秀賞、優秀賞、入選作品を選び米子市内で開催される環境フェアにて表彰いたします。

応募期限は、平成25年5月13日（月）です。

たくさんのご応募、お待ちしております！



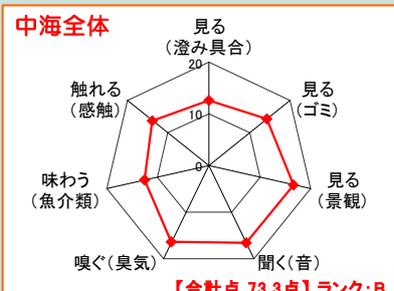
H24年度 表彰式の様子

- ◆ 募集作品：中海とその周辺の自然環境、中海と人間のふれあいを表現した写真。作品には、必ず中海を入れてください。
- ◆ 応募資格：一切問いません。米子市外のかたもご応募ください。
- ◆ 応募規定：「一般の部」と「学生の部（小学生から高校生まで）」で募集しています。詳細は米子市ホームページまたは、米子市環境政策課までお問い合わせ下さい。
- 米子市環境政策課 〒683-0822 米子市中町20番地（旧庁舎1階）
TEL (0859)23-5256 / E-mail kankyoseisaku@city.yonago.lg.jp

中海を5感でチェック！

平成23年10月～平成24年9月の調査結果

鳥取・島根両県では分かりやすく中海の環境が評価できるよう、人の5感（見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わう）を用いた湖岸環境の調査を行っています。これは公募した湖沼環境モニターの方に毎月1回中海の湖岸担当地点に向いて貰い、水環境を5感で評価、集計し、合計点数に応じ各地点の環境をA～Cのランクで見るとのことです。この度、平成23年10月から翌9月までの調査結果がまとまりました。

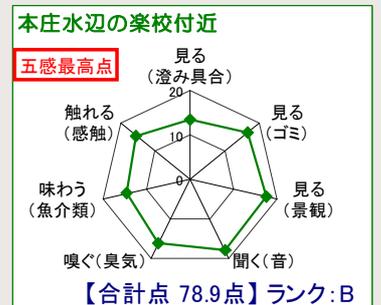


合計点数	ランク	評価内容
80点以上	A	おおむね良好で親しみやすい環境にあると感じられる。
50点～79点	B	やや気になる面があるが、まずまず良好な環境であると感じられる。
49点以下	C	快適さに欠け、親しみにくい環境にあると感じられる。

今回、中海の調査地点全体の平均点は73.3点、**ランクB「やや気になる面はあるが、まずまず良好な環境であると感じられる」**でした。

最高点は「本庄水辺の楽校付近」の78.9点で、右の写真は、この本庄水辺の楽校付近の様子です。

あなたも、大好きな中海を見つけに、水辺へ出かけて五感で感じませんか。



※ 他の地点の結果は、HPに掲載しています。ご覧下さい。(http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=174134)

中海の環境活動イベント情報をホームページに掲載しています

中海・宍道湖情報館 イベント情報 ホームページアドレス <http://www.nakaumi-shinjiko.jp/calendar.html>

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所
生活環境局環境・循環推進課
鳥取県米子市靴町一丁目160
電話 (0859)31-9350
E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.jp
Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

島根県環境生活部環境政策課
宍道湖・中海対策推進室
島根県松江市殿町1番地
電話 (0852)22-6445
E-mail:kankyo@pref.shimane.lg.jp
Homepage: http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページをご確認ください。なお、投稿にあたっては出来る限り電子データで投稿をお願いします。